

## 最も簡単な方法は再生可能エネルギーに力を入れる 電力会社にシフトすること

湯浅 剛さん 3人家族/(株)アトリエ六曜舎 代表取締役/(一社)えねこや 代表理事

私が自宅の電気をGPPに変えた理由は「この会社なら、近い将来必ず再生可能エネルギー 100%の電気をとどけてくれる！」という確信を持ったことです。電力会社の切替え手続きは簡単で、価格も安く、電気に変化があるわけでもなく、日々快適にクリーンな電気を使っています。

実は私、自宅の隣の古家をリノベーションして設計事務所を運営していて、そこを完全オフグリッド(電力会社の電力をひかずに電力自立すること)にしています。改修工事の際、屋根や壁、窓の断熱性を高めて、熱のエネルギーロスを抑える工夫をしました。3.3kWの太陽光発電と太陽熱温水器、フォークリフト用の鉛バッテリー(18kWh)、ペレットストーブなどを用いて、毎日快適に仕事をしながら、4年が経過したところです。限られたエネルギーを活用するために本気で省エネに取り組み、晴れたら太陽には感謝の気持ちでいっぱいになります。

エネルギーや気候変動の問題に気づいた人々から「自分にはできることはなに?」と聞かれたら「省エネを実践すること」「小さな太陽光発電にトライすること」と話します。そして次に、最も簡単な方法は「再生可能エネルギーに力を入れる電力会社にシフトすること」だと伝えます。

## 関わる人たちの「再エネ100%の電気を届ける」という思いが 誰にも負けにくい強い

山下 博子さん 3人家族/NPO法人かわさき市民共同おひさまプロジェクト 理事長

私は川崎市で「市民の力で再エネを増やして温暖化防止!」という活動をしています。原発事故が起きる前は、将来的に再エネが増えたら、まず止めるべきなのは火力発電だと考えていました。そこに事故が起きた。あまりにも悲惨な事故を目の当たりにし、どうしたらいいのかと悩みました。でも、きっとこれで再エネは一気に普及するだろうと、小さな希望も見えていました。

ところが日本では、事故後も再エネはなかなか普及しません。自分たちの非力を嘆きながら、それでも活動を続けました。その後、自分たちで発電所を作るという具体的な目標を掲げます。実務を勉強するため、イージーパワー(株)で働くことにしました。そして電力会社を替えるときには、自然と兄弟会社であるGPPを選びました。

切替え前の電気はオール電化・エコキュートの「電化上手」というプラン、契約電力は10kVA(100A)でした。GPPには「夜間の割安料金」プランはないため、このまま切替えると電気料金が上がってしまう。それはやはりつらいので、契約電力を60Aに下げられないか調べることにしました。知人に測定器を貸り、実際の電力消費量を測定します。エコキュートは冬でも12A。炊飯器でご飯を炊き、IH・2口を強で、

お客さまからの  
メッセージ

# 001

春から秋はオフグリッドの事務所で電気があまるので、それを活用しようと思い、EVのリーフに乗りはじめましたが、なぜか充電用の配線がうまくつなげません。ディーラーにいわねば無料で急速充電できるのですが、私はなるべく自宅で、GPPの電気を使って充電します。これも再エネ普及の応援だと考えているから。

次の世代を担う子どもや若者たち、そして普通の人たちが、エネルギーや環境問題を自分ごととして考えてくれるよう、楽しい活動を通して啓発活動をしていきたい。そして、GPPのような再生可能エネルギーに全力でとりくむ会社とともに、持続可能な社会が実現できると良いな〜と、日々妄想しております!

仲間とともに「一般社団法人えねこや」も立ち上げました。「えねこや」はエネルギーの小屋。エネルギー自立した小屋を街中に増やそうという活動です。停電が起きた時には、そこにいけば電気を少し譲ってもらえる。住宅だけでなく、カフェや子どもの施設など、コミュニティスペースへの展開も目指しています。オフグリッドの事務所の見学会やイベントを通して、再エネの啓発活動と災害に強いまちづくりの実現にもつながりたいと考えています。



お客さまからの  
メッセージ

# 002

電子レンジを同時に使っても60Aで賄うことができます。60Aに変更し、GPP電気の従量電灯Bに切替えることに決めました。

「電化上手」契約では、電気料金の安い深夜に電気を使おうという意識が働きます。エコキュートも23時から翌日7時までの間にお湯を沸かしますが、寒い時期などにお湯が足りなくなると、深夜時間帯以外にも稼働します。すると「今沸かさなくても大丈夫なのに、どうして動くの?」とイライラ。今は時間帯で電気代が変わらないので、そういう意識からは自由になりました。1年前の電力消費量が同じだった月と比べると、先月は電気代が726円高くなっていますが、この程度なら許容範囲です。

再エネ電気をとどける新電力会社は、GPPの他にもあります。日本全体で再エネを普及させるため、みんなでがんばろうね!と思います。なかでもGPPの魅力は、関わる人たちの「再エネ100%の電気を届ける」という思いが誰にも負けにくい強いこと。思いだけでは会社経営は成り立たないけれど、思いがなければ、ほしい未来はやって来ません。会社の運営体制も徐々にしっかりできています。みなさんも一緒に、GPPを応援していきましょう。